

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	8 健康・福祉
----	---------

政策	4 安心・安全な生活を支え生涯を通じた健康づくりを推進します
----	--------------------------------

評価者責任	所属	保健福祉長寿局 健康福祉部 健康づくり推進課
	氏名	課長 宮崎 良樹

施策	1 ライフステージに合わせた健康づくりの推進
----	------------------------

施策の目的	心身ともに健康的な生活習慣を身につけるための健康増進施策を充実するとともに、疾病の早期発見・早期治療につなげるためのがん検診・特定健診等を実施し、ライフステージに合わせた健康づくりを推進します。
-------	---

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	B：施策の目的があまり達成されていない。	理由	成果指標のうち、疾病の早期発見・早期治療につなげるための主な指標である「がん検診受診率」「特定健診受診率」は、目標値を下回っている状況。また、こちらの相談機関の認知度(20歳以上)は、令和3年度に実施する「市民意識調査」によるため達成率は算出出来ないが、毎年の相談件数は年々増加している。目的達成のためには、疾病の早期発見・早期治療につなげるような受診機会の提供の拡大や受診を促し行動変容に繋がる施策を増やしている等のことから、総合評価を「B」とした。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標のうち、「がん検診受診率」は、令和3年3月に策定した「がん対策推進計画」に合わせ、目標値を修正、「特定健診受診率」も「第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)第3期特定健康診査等実施計画」の中間評価・見直しにあわせ、目標値を修正した。「がん検診」「特定健診」とともに、令和2年4月の緊急事態宣言により、約1ヵ月間検診期間を中断するなど、新型コロナウイルスによる影響があったが、無料クーポン事業などの受診勧奨事業を行い、「がん検診受診率」は、目標値を達成、「特定健診受診率」も目標値をおおむね達成したため、総合評価を「A」とした。 ※こちらの相談機関の認知度(20歳以上)は、令和3年度に実施する「市民意識調査」によるため達成率は算出不可。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	「がん検診受診率」は、日曜日検診や無料クーポン事業、受診勧奨事業等を行い、目標値を達成した。「特定健診受診率」は、目標値を下回っている状況であるが、同時受診でがん検診が無料になるクーポン事業や受診勧奨を行い、受診を促した。「こちらの相談機関の認知度(20歳以上)」は、令和3年度に「市民意識調査」を行った結果、おおむね目標値を達成した。また、「施策を構成する主要事業」は計画どおり進んでいるため総合評価を「A」とした。
	令和4年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	「がん検診受診率」は、受診機会の確保や受診勧奨等の事業を引き続き実施したことにより目標値を達成した。「特定健診受診率」については、がん検診と連動した事業や受診勧奨等を継続して行ったことにより、目標値を下回ってはいるが、昨年度値を維持することができた。「こちらの相談機関の認知度(20歳以上)」は、令和3年度に「市民意識調査」を行った結果、おおむね目標値を達成している。また、「施策を構成する主要事業」は計画どおり進んでいるため総合評価を「A」とした。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。 A：施策の目的が達成されている。 B：施策の目的があまり達成されていない。 C：施策の目的が達成されていない。 -：評価できない。

(2) 成果指標

指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率(%)	評価	目標値の算出根拠
がん検診受診率 (大腸がん検診、40～69歳)	22.7% (平成29年度実績)	1	22.9%	20.4%	89.0%	b	平成29年度の大腸がん検診受診率は22.7%であったことから、個別勧奨通知の発送や国保加入者に対する無料クーポン事業などの受診率向上対策により令和4年度の受診率は24.4%とするよう目標値を設定した。(備考：がん検診の対象者は、職場で検診機会のない方となっており、分母は次の方式で算出している。<直近の国勢調査における「各がん検診の対象年齢の人口」+「就業者の人口」+「農林水産業従事者の人口」> (なお、目標値における受診率は、40歳～69歳の大腸がん受診者を、この方式で算出された対象者で割ることで算出している。) 【令和2年度修正】 令和3年3月に策定した「がん対策推進計画」に掲げる大腸がん検診受診率の目標値に修正した。(令和2年度は、令和元年度の実績値を据え置き、令和3年度以降は、0.8%ずつ上昇)令和3年度から受診率を令和2年度国勢調査のデータを用いた母数で算出している。
		2	20.4%	20.5%	100.4%	a	
		3	21.2%	23.8%	112.3%	s	
		4	22.0%	24.4%	110.9%	s	
特定健診受診率	33.4% (平成29年度実績)	1	42%	34%(※)	80.9%	c	第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)第3期特定健康診査等実施計画に合わせ令和4年度の受診率を48%とするよう目標値を設定した。(データヘルス計画の目標値は厚生労働省の目標値(受診率60%)を参考に設定している。) 【令和2年度修正】 令和3年3月に、第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)第3期特定健康診査等実施計画の中間評価見直しにより、目標値を修正した。(令和2年度は、令和元年度の実績値を据え置き、令和3年度以降は、0.8%ずつ上昇)
		2	34.1%	32.5%(※)	95.3%	a	
		3	34.9%	31.5%(※)	90.3%	b	
		4	35.7%	32.3%(※)	90.5%	b	
こちらの相談機関の認知度(20歳以上)	50.4% (平成29年度調査)	1	56%	-	-	-	【第3期静岡県自殺対策行動計画(令和元年度～4年度)】の評価指標で、平成29年度の市民意識調査時の50.4%を令和4年度には、59%以上とすることを目標とした。令和元年度の目標値としては、平成30年の目標値55%に年間平均伸び率0.81を加えた56%とする。次回の市民意識調査は次期計画策定前年の令和3年に行う予定であり、それまでの間の実績値、達成率の算出はできない。
		2	-	-	-	-	
		3	59%	58.5%	99.2%	a	
		4	-	-	-	-	
指標成果以外の	<p>○乳がん検診、子宮頸がん検診では、受診機会を増やすため、平日に受診出来ない女性を対象に「日曜日検診(乳がん検診、子宮頸がん検診、特定健診の同時実施)」を4回行い、406人が受診した。</p> <p>○特定健診と大腸がん検診を同時受診すると、大腸がん検診の自己負担金が無料となる受診推進事業を、40歳～69歳の国民健康保険被保険者66,896人を対象に実施し、9,490人が受診した。</p> <p>○制度の利用率は、14.2%で、前年度の11.2%から3%増加した。</p> <p>○こちらの相談機関の認知度は、平成29年度以降にギャングルの相談にも対応するようになったため下記のとおり相談件数(実件数)が増えていることから認知度も増えている。</p> <p>個別相談件数 平成29年度 428件(実件数 185件) 平成30年度 613件(実件数 189件) 令和元年度 706件(実件数 229件) 令和2年度 479件(実件数 229件) 令和3年度 484件(実件数 298件)</p>						

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

※特定健診受診率の令和4年度実施値32.3%は令和5年5月末時点の値であり、国への法定報告値は令和5年11月に確定

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
がん検診事業	①勤務先等でのがん検診等の受診機会のない人を対象とするがん検診の実施 ②国庫補助事業による対象年齢の人へのがん検診無料クーポンの配付 ③受診率向上に係る普及啓発や、日曜日検診・託児付き婦人科検診の実施	1	1	825,018	0	791,248	1.5	1.0	1.0	○
			2	819,294	—	746,711	2.5	2.0	0.0	
			3	816,179	—	795,581	2.0	3.0	0.0	
			4	812,170	—	784,362	2.0	2.0	0.0	
がん対策推進事業	①静岡市がん対策推進協議会の開催 ②第1期 静岡市がん対策推進計画の策定及び進捗管理	2	1	368	0	234	1.0	0.0	0.0	○
			2	726	0	498	1.0	0.0	0.0	
			3	1,349	0	1,040	1.0	0.0	0.0	
			4	663	0	575	1.0	0.0	0.0	
元気静岡マイレージ事業	①健康チャレンジシートの発行、配布 ②事業参加に係る普及啓発 ③事業実施や抽選特典提供等、企業への協力依頼	2	1	755	0	465	1.0	0.0	0.0	○
			2	717	0	598	1.0	0.0	0.0	
			3	681	0	550	1.0	0.0	0.0	
			4	681	0	572	1.0	0.0	0.0	
しずおか「カラダにeat75」事業	①高校生に向けた食育啓発用まんの作成、配布 ②簡単朝食レシピリーフレットの作成、配布 ③高校生に向けた食育教室の開催	2	1	313	0	162	1.0	0.5	0.0	○
			2	275	—	154	1.5	0.5	0.0	
			3	1,297	—	850	1.5	0.0	0.0	
			4	1,220	0	1,067	1.5	0.0	0.0	
歯科保健推進事業	①希望するこども園、幼稚園、保育園の園児等への歯科保健指導やフッ化物洗口法の専門的指導 ②未就学児とその保護者を対象とした歯科健診・相談・保健指導等	2	1	18,932	0	17,266	2.0	2.0	3.0	○
			2	18,488	0	16,657	2.0	3.0	—	
			3	19,179	0	18,070	2.0	3.0	—	
			4	17,798	0	16,594	2.0	4.0	—	
こころの健康相談診療事業	回復プログラムによるうつ病・依存症の治療 (1) 個別面接相談事業 (2) 認知行動療法外来 (3) うつ病集団回復プログラム（しずここ） (4) 依存症集団回復プログラム（リカバリーチャンネル）	2	1	9,035	0	6,314	3.4	2.0	0.0	○
			2	6,047	0	4,413	3.0	2.0	0.0	
			3	5,491	0	3,071	5.0	0.0	0.0	
			4	6,734	0	4,405	5.0	0.0	0.0	
メンタルヘルス相談機関との連携強化	多職種チームによる各相談機関への訪問・助言指導等 (1) 医師、心理職、精神保健福祉士等がチームを組み、相談支援事業所が抱える多問題困難ケース等に対し技術支援（助言指導）を行う。 (2) 支援事業所の職員を対象に研修を実施し、事業所職員の資質向上を図る。	1	1	363	0	173	0.5	0.0	0.0	○
			2	229	0	18	0.5	0.0	0.0	
			3	228	0	3	0.5	0.0	0.0	
			4	228	0	15	0.5	0.0	0.0	
自殺対策事業	①自殺対策連絡協議会及び自殺対策庁内連絡会の開催 ②自殺対策推進センター運営事業の実施 ③自殺予防週間等に合わせた普及啓発 ④Life（いのち）を守る総合相談会等の開催 ⑤静岡いのち電話事業費補助金の交付	2	1	4,249	0	3,788	0.6	1.0	0.0	○
			2	3,916	0	3,292	0.6	1.0	0.0	
			3	8,085	0	5,336	0.6	1.0	0.0	
			4	6,084	0	3,883	0.6	1.0	0.0	
【国保】特定健康診査・特定保健指導等事業	①国民健康保険被保険者に対する健康診査・保健指導等の実施 ②特定健康診査及び大腸がん検診を同時受診した者に対し、大腸がん検診の自己負担金が無料となるクーポン券を配布 ③糖尿病性腎症重症化予防事業（対象者への受診勧奨・保健指導等） ④ICTを活用した特定保健指導の実施	1	1	682,490	0	494,643	4.0	2.0	2.0	○
			2	560,804	0	420,072	4.0	4.0	0.0	
			3	546,869	0	413,162	3.0	5.0	0.0	
			4	494,329	0	414,093	4.0	4.0	0.0	
予防接種モバイルサービス事業	①予防接種モバイルサービスシステムの円滑な運用 ②予防接種モバイルサービスの普及・啓発	2	1	2,355	0	2,355	0.5	0.0	0.0	○
			2	2,376	0	2,376	0.5	0.0	0.0	
			3	2,376	0	2,376	0.5	0.0	0.0	
			4	2,218	0	2,218	0.5	0.0	0.0	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画より実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

（がん検診事業）現状の検診制度維持と併せ、受診率の向上に向け、受診機会の拡大や受診勧奨の強化等を検討していく。
 （特定健康診査）現状の検診制度維持と併せ、受診率の向上に向け、受診機会の拡大や受診勧奨の強化等を検討していく。
 （元気静岡マイレージ事業）働き盛り世代の参加者数増加に向けて、引き続き民間企業や保険者等と連携していくとともに、アプリ化等Dx化の実施について検討していく。

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	8 健康・福祉
----	---------

政策	4 安心・安全な生活を支え生涯を通じた健康づくりを推進します
----	--------------------------------

評価責任者	所属	保健福祉長寿局 保健衛生医療部 保健衛生医療課
	氏名	課長 鈴木 忠裕

施策	2 健やかに暮らせる地域医療の充実
----	-------------------

施策の目的
健康長寿のまちの実現に向け、市民がいつまでも「自宅でずっと」暮らすことができるよう、在宅医療の体制整備、高度医療の提供など、効率的で質の高い地域医療体制の充実が求められています。このため、地域医療の核となる公的病院や市立清水病院の医師等の医療職の確保や高度医療機器の整備、及び山間地診療所に対する運営支援に重点的に取り組むことで、市民が病気になるっても安心して医療を受けることができるまちを目指します。

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	山間地地域の医療環境の整備等に努め、市内の無医地区数についての目標値が達成されており、また、市内公的病院等による救急医療体制についても年間を通して確保できており目標値を達成している。さらに、市立清水病院における初期研修医の確保や高度医療機器の整備についても目標値が達成されている。これらのことから、市民が安心して医療を受けることができるまちの推進が図られていると判断し、総合評価を「A」とした。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	山間地地域を含む市内の医療提供体制の確保や、公的病院等による救急医療体制の維持、市立清水病院における初期研修医の確保及び高度医療機器の整備など、引き続き、全ての成果指標の目標値が達成されていることから、市民が安心して医療を受けることができるまちの推進が図られていると判断し、総合評価を「A」とした。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	全ての成果指標の目標値が達成されており、また、コロナ禍においても、山間地地域における医療提供体制や、市内公的病院等による救急医療体制が年間を通して確保できていることから、市民が安心して医療を受けることができるまちの推進が図られていると判断し、総合評価を「A」とした。
	令和4年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	市立清水病院における初期研修医の確保及び高度医療機器の整備など、全ての成果指標の目標値が達成されている。また、コロナ禍においても、山間地地域における医療提供体制や、市内救急告示病院等による救急医療体制が年間を通して確保できていることから、市民が安心して医療を受けることができるまちの推進が図られていると判断し、総合評価を「A」とした。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。
※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
成果指標	市内の無医地区数	0地区 (平成30年度)	1	0地区	0地区	100%	a	市内のどこに住んでいても必要な医療の提供が受けられるよう、無医地区数0地区を目標値として設定した。
			2	0地区	0地区	100%	a	
			3	0地区	0地区	100%	a	
			4	0地区	0地区	100%	a	
	救急医療受入可能日数・時間帯	365日、24時間 (平成30年度)	1	365日、24時間	365日、24時間	100%	a	救急医療体制は、1年間確保する必要があり、暦どりの実施日数を目標値として設定した。
			2	365日、24時間	365日、24時間	100%	a	
			3	365日、24時間	365日、24時間	100%	a	
			4	365日、24時間	365日、24時間	100%	a	
	修学資金貸与医学生市の市立清水病院での初期研修実施率	100% (平成30年度)	1	100%	100%	100%	a	修学資金は将来、市立清水病院で勤務することを条件にしており、卒業生は全員翌年度の初期研修から市立清水病院で研修医として勤務することを想定しているため、100%を目標値として設定した。
			2	100%	100%	100%	a	
			3	100%	100%	100%	a	
			4	100%	100%	100%	a	
	市立清水病院の高度医療機器の購入計画に対する整備率	100% (平成30年度)	1	100%	100%	100%	a	医療機器の充実のためには、計画的な医療機器の導入、更新等の整備が必要であるため、整備率100%を目標値として設定した。
			2	100%	100%	100%	a	
			3	100%	100%	100%	a	
			4	100%	100%	100%	a	
指標以外の								

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
山間地医療確保対策事業	①山間地地域の診療所の施設整備及び医療機器更新等の実施 ②山間地地域の診療所の開設者を支援する補助金の交付	1	1	64,275	—	62,576	0.3	0.0	0.0	○
			2	66,673	—	65,721	0.3	0.0	0.0	
			3	53,283	—	50,463	0.3	0.0	0.0	
			4	58,797	—	57,662	0.3	0.0	0.0	
病院群輪番制運営費助成	休日又は夜間の二次救急医療体制として市内の救急告示病院が行う病院群輪番制運営事業に対する補助金の交付	2	1	291,853	—	290,070	0.5	0.0	0.0	○
			2	291,405	—	290,558	0.5	0.0	0.0	
			3	301,581	—	300,868	0.5	0.0	0.0	
			4	304,000	—	303,999	0.5	0.0	0.0	
清水病院医学生修学資金貸与制度	市立清水病院で勤務を希望する医学生に対する修学資金の貸与	3	1	64,500	—	63,000	0.5	0.0	0.0	○
			2	56,250	—	53,625	0.5	0.0	0.0	
			3	55,150	—	51,375	0.5	0.0	0.0	
			4	52,500	—	39,000	0.5	0.0	0.0	
市立清水病院の高度医療機器整備事業	高度医療の提供に必要な医療機器の計画的な更新及び適切な保守管理等の実施	4	1	725,744	—	655,078	1.0	0.0	0.0	○
			2	500,000	—	237,511	1.0	0.0	0.0	
			3	500,000	—	278,313	1.0	0.0	0.0	
			4	500,000	—	322,021	1.0	0.0	0.0	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後の取組や方向性

山間地医療確保対策事業について、総合評価欄のとおり期待どおりの成果をあげることができたが、5つの山間地診療所のうち大河内診療所など3診療所は、建築後35年以上が経過している。このため、老朽化した診療所の計画的な建替、修繕を実施し、今後も安心して暮らせる地域医療の確保に向けて引き続き取り組んでいく。

病院群輪番制運営費助成について、総合評価欄のとおり期待どおりの成果をあげることができたが、地域医療の充実は市民の生活に直結するものであり、一時的なものではなく、継続して成果をあげ続ける必要があるものとして捉えている。このため、第4次総合計画の分野別の政策の1つとして「安心して暮らせる地域医療の確保」を位置づけ、安定的な救急医療体制や山間地医療の確保を図ることで、今後も健康づくり・地域医療の推進に向けて引き続き取り組んでいく。

清水病院医学生修学資金貸与制度について、総合評価欄のとおり期待どおりの成果をあげることができた。今後においても静岡市立清水病院経営計画の医師確保の取組の一つとして位置づけ、貸与者の少ない学年での新規貸与を目指すなど、新規貸与者の確保に努めていく。

市立清水病院の高度医療機器整備事業について、総合評価欄のとおり期待どおりの成果をあげることができたが、当院の経営状況と市民ニーズ及び医療機能の充実のための計画的機器更新のバランスを考慮し、今後も高度医療機器整備事業の推進に向けて引き続き取り組んでいく。

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	8 健康・福祉
----	---------

評価責任者	所属	保健福祉長寿局 保健衛生医療部 保健衛生医療課
	氏名	課長 鈴木 忠裕

政策	4 安心・安全な生活を支え生涯を通じた健康づくりを推進します
----	--------------------------------

施策	3 健康に関する危機管理の推進
----	-----------------

施策の目的	南海トラフ巨大地震等の大規模な災害時には、多数の負傷者が同時に発生し、救護所や救護病院が大変混雑し混乱することが予想されます。また、新型インフルエンザ等の感染症や食中毒が発生した場合には、市民の健康、生命に影響を及ぼすこととなります。これらの健康に関する危機による被害をできる限り減少させるため、災害時医療対策、新型インフルエンザ等対策、食の安心・安全についての正確な情報の普及や衛生意識の向上に重点的に取り組むことで、健康に関する危機管理を推進し、市民が安心して安全に暮らすことができるまちを目指します。
-------	---

(1) 総合評価

総合評価	年度	評価	理由
総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由 大規模食中毒の発生が抑えられ目標値は達成されており、また、救急医療体制についても年間を通して確保できていることから目標値を達成している。さらに、感染症の発生に備えた必要なマスクなどの備蓄の補充・更新についても目標値は達成されている。なお、災害時を想定した救護訓練等の参加者は目標値を下回っているが、これは新型コロナウイルスの影響による訓練の延期や中止等によるものである。これらのことから、市民が安心して安全に暮らすことができるまちの推進が図られていると判断し、総合評価を「A」とした。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由 成果指標のうち、大規模食中毒の発生件数、救急医療受入可能日数・時間帯については、引き続き、目標値が達成されている。さらに、サージカルマスクの備蓄数については、令和2年度から成果指標の目標値の引き上げを行い、こちらも達成されている。なお、災害時を想定した救護訓練等については、新型コロナウイルスの影響に伴う規模縮小や中止により、設定している指標の実績値を正確に測定することが困難であることから評価をしていない。これらのことを考慮した結果、市民が安心して安全に暮らすことができるまちの推進が図られていると判断し、総合評価を「A」とした。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由 大規模食中毒の発生件数、救急医療受入可能日数・時間帯、サージカルマスクの備蓄数については、目標値が達成されている。災害時を想定した救護訓練等については、前年度同様新型コロナの影響に伴う規模縮小などにより、設定している指標の実績値を正確に測定することが困難であることから評価をしていない。なお、指標以外の成果として、災害看護研修の開催や感染予防備品の追加配備など、災害時医療対策の取組は評価できることから、市民が安心して安全に暮らすことができるまちの推進が図られていると判断し総合評価を「A」とした。
	令和4年度	A：施策の目的が達成されている。	理由 大規模食中毒の発生件数、救急医療受入可能日数・時間帯、サージカルマスクの備蓄数については、目標値が達成されている。災害時を想定した救護訓練等については、新型コロナ等の影響に伴う規模縮小などにより、設定している指標の実績値を正確に測定することが困難であることから評価をしていない。なお、指標以外の成果として、災害看護研修の開催や備蓄資材の追加配備など、災害時医療対策の取組は評価できることから、市民が安心して安全に暮らすことができるまちの推進が図られていると判断し総合評価を「A」とした。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率 (%)	評価	目標値の算出根拠
成果指標	大規模食中毒（患者数100人以上）の発生件数	0件 (平成30年度)	1	0件	0件	100%	a	大規模食中毒が発生しないことが目標であるため、0件を目標値として設定した。
			2	0件	0件	100%	a	
			3	0件	0件	100%	a	
			4	0件	0件	100%	a	
	救急医療受入可能日数・時間帯	365日、24時間 (平成30年度)	1	366日、24時間	366日、24時間	100%	a	救急医療体制は、1年間確保する必要があり、暦どおりの実施日数を目標値として設定した。
			2	365日、24時間	365日、24時間	100%	a	
			3	365日、24時間	365日、24時間	100%	a	
			4	365日、24時間	365日、24時間	100%	a	
	サージカルマスクの備蓄数	80,800枚 (平成30年度)	1	80,800枚	80,800枚	100%	a	新型コロナウイルス感染症を含む新たな感染症患者の対応に備え、市内病院の利用実績から算出した1か月のサージカルマスク使用量（308,000枚）を目標値とした。
			2	308,000枚	308,000枚	100%	a	
			3	308,000枚	308,000枚	100%	a	
			4	308,000枚	308,000枚	100%	a	
	応急救護訓練、トリアージ訓練等の参加者数	1,000人 (平成30年度)	1	1,100人	833人	75.7%	c	救護訓練等に参加した人数の実績（過去3カ年）を参考に目標値を設定した。
			2	1,100人	—	—	—	
			3	1,100人	—	—	—	
			4	1,100人	—	—	—	
成外 指標 の 結果	災害時医療対策について、救護所運営に必要な医療職のうち、看護師の訓練参加が非常に少ないことが例年課題とされており、看護師の災害医療に対する意識の醸成を図るため、令和3年度から看護師を対象とした「災害看護研修」を県看護協会の協力のもと開催し、講義や実技講習を行った。また、備蓄資材として新たに非接触型体温計や布担架などの追加配備を行った。							

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
食の安心・安全アクションプランの推進	①食の安心・安全アクションプランに基づいた業務の実施 ②静岡市食の安心・安全に関する情報を市民に提供するウェブサイトの運営	1	1	1,700	—	1,086	3.0	0.0	0.0	○
			2	1,499	—	972	2.0	0.0	0.0	
			3	978	—	652	2.0	0.0	0.0	
			4	1,444	—	985	2.0	0.0	0.0	
精神科救急医療体制整備事業	休日・夜間等の精神科医療が必要な者に対する緊急時の適切な医療及び保護を実施する体制の構築	2	1	22,914	—	22,748	0.1	0.0	0.0	○
			2	22,867	—	22,867	0.1	0.0	0.0	
			3	22,894	—	22,882	0.1	0.0	0.0	
			4	22,987	—	22,987	0.1	0.0	0.0	
新型インフルエンザ等対策事業	備蓄資材（サージカルマスク）の円滑な更新	3	1	96	—	96	0.1	0.0	0.0	○
			2	1,593	—	1,593	0.1	0.0	0.0	
			3	99	—	99	0.1	0.0	0.0	
			4	90	—	89	0.1	0.0	0.0	
災害時医療対策事業	①救急救護の普及啓発 ②救護所及び医療救護本部の管理・体制強化 ③備蓄資材の購入・更新	4	1	2,453	—	2,141	0.5	0.0	0.0	○
			2	1,010	—	547	1.0	0.0	0.0	
			3	1,010	—	467	1.0	0.0	0.0	
			4	1,000	—	607	1.0	0.0	0.0	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

食の安全・安心アクションプラン（令和5年度から名称変更）の推進について、新型コロナウイルス感染症の分類移行に伴い、飲食店等の利用者が増える可能性があり、大きな食中毒事故につながるおそれのある健康被害や苦情（ヒヤリハット事例）の増加が懸念されるため、食品衛生推進員を活用して事業者や市民からヒヤリハット事例を収集し、行政でとりまとめたうえで事業者等に対してフィードバックすることによりヒヤリハットの発生を抑え、大規模な食中毒を防止していく。

精神科救急医療体制整備事業について、計画どおり体制を構築できているため、関係機関及び関係団体と協議し、より充実した体制の確保を目指す。

新型インフルエンザ等対策事業について、総合評価欄のとおり期待どおりの成果をあげることができた。今後引き続きサージカルマスクの備蓄必要枚数を維持するため、計画的な購入を進めて行く。

災害時医療対策事業について、新型コロナの影響により、成果指標の正確な評価が困難であったが、その他の取組として災害看護研修の開催や感染予防備品の追加配備等の成果をあげることができた。訓練に参加することが成果ではなく、3師会、自主防、行政等とが必要な協議・調整等を行い、その結果を踏まえて訓練することにより、災害時医療に関する知識等の醸成及び定着が図られ、より効果的な訓練となることから、第4次総合計画では適切な訓練の実施を成果指標とし、今後も災害時医療の推進に向けて引き続き取り組んでいく。